

5年理科「人のたんじょう」実践記録

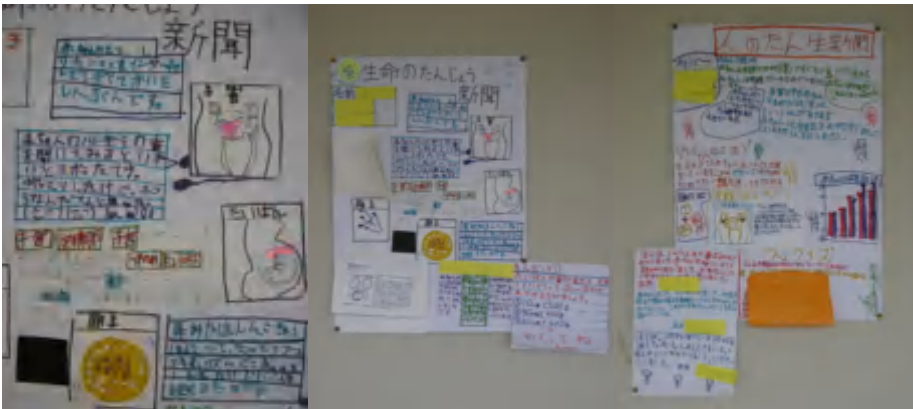
＜単元の目標＞

- お腹の中の赤ちゃんの成長から誕生までの変化の様子を、資料をもとに調べてまとめるとともに、命の重さ、すばらしさを見つめることができる。

＜主な学習の流れ＞

学習内容	主な発言・教師の支援	時間
お腹の中の赤ちゃんの予想図をかく	へそのお、たいばん、目、髪の毛などキーワードに合わせて話題を整理した	1
母体内での赤ちゃんの成長を調べる方法を計画する	家族に自分が誕生した時の話や様子を聞いて調べてこよう	1
聞いても分からなかったことを資料から調べる	ビデオ・図書・保健室の資料・インターネットなどから見えそうなものを紹介した	2
作成した新聞を学習参観で発表する	分からないことはお母さんたちに聞いてみよう(どこから産まれるのか。産まれたらへそのおはどうなるか等)	1

＜子供たちが完成させた新聞と学習を終えての感想＞



- 赤ちゃんの心臓の音を聞いてみると意外と速かったです。びっくりしたけれど、これが普通なんだなあと思った。
- 母親は深呼吸法といって、「ヒッヒッフー」というリズムで胎児に酸素を送っています。
- 赤ちゃんがこんなに中でがんばっているのが分かってうれしかったです。
- 赤ちゃんがお母さんの子宮で2900gも育つからすごいです。
- 腹の中に羊水があって、それがクッションの替わりになっているのがびっくりしました。
- ぼくは、人の誕生のことを初めて知りました。赤ちゃんが子宮にいるとお母さんに負担がかからないのかな。
- 卵子や精子、受精のことも初めて分かりました。これからも赤ちゃんのことをもっと調べたいです。